

プロ・アマ無線従事者免許取得への挑戦 (BY JK1SBK)

まず、長年務めた会社を退職するに辺り、昔から興味が有った無線関連に再就職と考えた時、履歴書に書けるライセンスが無いなと思い、ライセンスの取得を目指して、退職まで2年有る、63才からでも取ろうと思い、行動に移しました。

手始めに、第1級陸上特殊無線技士の取得を目指して勉強を始めました。

使用教材は、Webで「過去問分析で陸特絶対合格」と過去問（平成26.2～平成29.6）。初めは、専門用語が解らず頭に入って行かず、慣れるのに苦労しましたが、慣れると勉強のスピードも上がって来ました。慣れろですね！

そして、平成29年10月に晴海で受験し、合格並びに会社の資格取得奨励金+受験料をゲットする事が出来ました。

次に、高校時代の最終目標で有った、陸上無線技術士にチャレンジしようと思い勉強を始ました。教材は、陸特を受験した時に購入した「情報通信振興会」発行の「二技（過去5年間の問題・解説）それと、過去問（平成24年7～29年1）を毎日解けなくても1問でも良いからと続けました。初めは、ちんぷんかんぷん。でも、続けていると、少しずつではあるが、問題を解くプロセスが思い出せる様になり、勉強も段々と進んでいきました。継続は、力なり！

そして、平成30年7月に晴海で受験し、合格並びに会社の資格取得奨励金+受験料をゲットする事が出来ました。

退職まで1年を切っていましたので、最終目標である1技を目指して勉強を再開しました。教材は、「情報通信振興会」発行の一技（過去5年間の問題・解説）それと、過去問（平成25年1～29年7）二技を始めた時みたいな取っつきにくさは有りませんでした。が、難しかったですね。それでも、歯を食いしばり、過去問

を繰り返し繰り返し解いて行き、解けない問題を、正解に出来るまで、解き続けました。目標（合格）に向かってひたすら突き進め！

そして、平成31年1月に晴海で受験し、合格並びに会社の資格取得奨励金＋受験料をゲットする事が出来ました。再就職にあたり、当時務めていた会社の上司に再就職の斡旋をするので、業界に名前を出していいかと言って頂き了解しましたが、通勤の近い職場を選びたかったので、会社の再就職の斡旋はお断りし、友人に紹介してもらた、通信関連の職場に再就職し、現在もお仕事を続けています。

1技を取得し、6年のブランクを経て、1アマの受験に向け勉強を令和6年12月から始めました。きっかけは、羽村市のハムショップ「フレンズの店長」のお誘いで、今度、あんでなのグループで1アマの勉強会を立ち上げるけど、島村さんは”どうする”とお誘いがありましたので、”イチョやってみるか”と思い始めました。教材は、「東京電機大学出版局」発行の第一級アマチュア無線技士合格精選450題。それと、過去問（令和3年4～6年12）を勉強しました。電機大の問題集を2回やり、後は、過去問を繰り返し繰り返し解きました。しょってる（1技）のが重くて”下手に不合格の無様は見せられないな”の思いが強く、頑張っ取り組みました。しかし、年齢から来る記憶力低下はどうすることも出来ませんでした。問題を繰り返し繰り返し解くことで、頭の中には解くプロセスが残っていて、前に進めました。勉強を始めて約6カ月の長丁場、モチベーションを維持するのは大変でしたが、5月17日に晴海で受験し、30日に合格メールを頂きました。

現在は、関東総合通信局に、従事者免許の申請を出し、免許が来るのを待っています。なお、現在は局免3AMですが、従事者免許が着たら、1AMの申請をしたいと思っています。家のベランダの環境では、1AFは電界強度が無理かな？